

⑤ 文化伝承

目 次

分類	タイトル	公園名	事業主体	頁
古都の風格を形成	古都奈良の風格を守り、伝える公園！	奈良公園	奈良県	54
平和の尊さを伝える	国際平和文化都市広島シンボルの	平和記念公園	広島市	55
平和の尊さを伝える	現代に戦争と平和を伝承！	黄金森公園	南風原町	56
文化伝承	地域に文化・交流機会を提供！	千秋公園	秋田市	57
文化伝承	地域の伝統、文化を後世に継承！	国営みちのく杜の湖畔公園		58
文化伝承	日本庭園整備で地域を歴史まちづくり化！	徳川園	名古屋市	59
文化伝承	公園が祭りの舞台に！	岡東中央公園	枚方市	60
文化伝承	沖縄の伝統・文化を来訪者へ伝承！	平和祈念公園	沖縄県	61
文化伝承	高校野球発祥の地の歴史を伝承！	高校野球記念公園	豊中市	62
文化伝承	文化交流拠点として様々な情報を発信！	浦添カルチャーパーク	浦添市	63
歴史的建造物継承	伝統技術や地域の歴史文化の理解を促進！	名城公園	名古屋市	64
歴史的建造物継承	当時の姿の城がある公園	城山公園	大洲市	65
歴史的建造物継承	日本古来からの伝統文化等の継承・発信！	舞子公園	兵庫県	66
技術継承	里山の伝統文化、技術を後世に継承！	一庫公園	兵庫県	67
技術継承	里山管理の技術の発信拠点！	丹波並木道中央公園	兵庫県	68
緑の文化の発信	緑の文化の発信！	国営昭和記念公園		69

- 奈良公園(奈良県)は、**世界遺産「古都奈良の文化財」**をはじめとした数多くの歴史・文化施設と、これらを取り巻く**雄大で豊かな緑の自然美**が調和した日本を代表する観光地である。
- 明治時代の開園以来、**貴重な歴史・文化遺産を維持・保存**するとともに、周辺市街地・山麓・社寺等との**バランスが保たれた整備**を行うことにより、古都の風格を形成。
- 国内外から年間1,000万人以上の来訪者が訪れ、**古都奈良の歴史文化を世界に発信**している。

【文化】古都奈良の歴史文化を世界に発信

奈良公園及び周辺地区は、世界遺産、多数の国宝など、日本を代表する文化財と豊富な歴史的資源を保有している。これらの資源を適切に保護・管理することで古都奈良の風格を形成。

多くの来訪者に古都奈良の歴史文化を発信している。



【毎年多くの観光客が訪れる】



【若草山と鹿
:天然記念物「奈良のシカ」】



【猿沢池と興福寺】



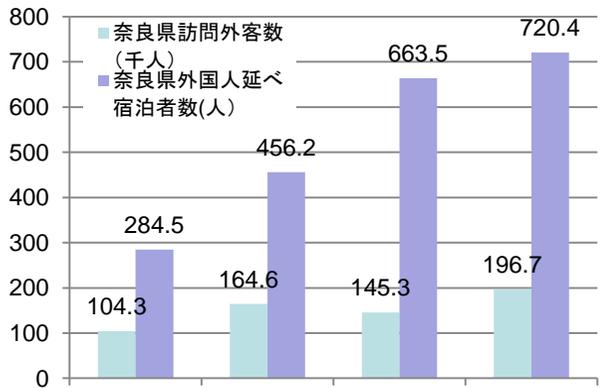
【東大寺】



【春日大社 本殿】



【樹木の生長による眺望の阻害等に対応するため、植生を適正に維持・管理】



※訪問外客数H27.1~9 外国人延べ宿泊者数 H27.1~8

国際平和文化都市広島のシンボル

- 平和記念公園(広島市)は、「広島平和記念都市建設法」(昭和24年8月6日制定)に伴い、爆心地に近い広島市の中心部に**平和記念施設として整備された公園**。
- 園内には、原爆投下当時の広島の様子を展示した**広島平和記念資料館**、**世界遺産に登録されている原爆ドーム**や、**国立広島原爆死没者追悼平和祈念館**などが立地し、毎年8月6日には、世界の恒久平和を祈念する平和記念式典が行われ、平和の尊さを後世へと伝えている。

【効果】平和の尊さを後世に伝える



【平和記念公園】



【平和記念資料館】

平成26年度来館者数:約131万4千人



【世界遺産 原爆ドーム】



【国立広島原爆死没者
追悼平和祈念館】

平成26年度来館者数:約25万2千人



【平和記念式典の様様】

平成27年参列者数:約5万5千人

- 黄金森公園(南風原町)は、太平洋戦争(沖縄戦)で用いられた沖縄陸軍病院南風原壕群が残る小高い丘を保全し、周囲を整備した公園です。
- 平成19年に、壕群の一部を一般公開して、ガイドの案内により沖縄戦の悲惨さや戦争の恐ろしさを住民や来訪者に伝えており、**平和と命の尊さについて学ぶ場として寄与しています。**

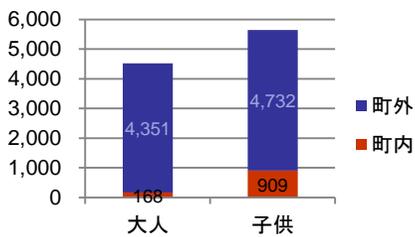
【効果】平和の尊さを伝える



【黄金森公園】

黄金森公園は、町の文化財でもある「沖縄陸軍病院南風原壕群」を敷地内に有する。戦争体験者が減少していく中、公園は、沖縄戦の記憶を後世に伝える「生き証人」としての壕を保存していく役割を担っている。

壕の利用者数 平成26年



壕の天井や壁には、ツルハシやクワによる掘削痕や、火炎放射器で焼かれたと思われる黒く焦げた跡が残り、戦争で傷ついた兵士達の手当をするための病院として利用されていた当時を今に伝えている。



【壕群のガイド】



【壕群の内部の様子】

平成19年(2007年)に一般公開をはじめてから7年が経過。毎年、約1万人の見学者が訪れている。

- 千秋公園(秋田市)は、佐竹藩の城跡公園であり、池坊花逍遥100選にも選ばれたお堀の蓮に市民の方々が親しみ、触れあえるよう、毎年「はすをめでの会」を開催し、地域の景観保全と普及啓発を行っている。
- 昭和54年に始まった「千秋茶会」は、平成26年で36回目を迎え、昨年度は入場者数が1万人を超えるなど、茶会(野点)という伝統文化を継承し、後世に引き継ぐ拠点となっている

【効果1】地域が誇る景観の保全

【お堀に咲き誇る蓮】



池坊花逍遥100選に選ばれた千秋公園の蓮。秋田市民の夏の楽しみの一つ。毎年、見事な花を咲かせている。



Everyday



Event

【効果2】「千秋茶会」
伝統文化と自然に触れる機会の提供

【千秋公園の緑と調和した茶席】



千秋公園の自然を感じながら行われる茶会は、多くの流派が一同に集まり、県内最大級。36年間も継続している茶会(野点)は、全国的に珍しい。

席数の推移(大人のみ)
平成25年-8,448席
平成26年-8,595席



Everyday



Event



- 国営みちのく杜の湖畔公園は、**東北各県の特徴的な古い民家を移築復元**した「ふるさと村」により日本の「ふるさと」の風景の保存を行っている。
- 東北地方に伝わる「暮らしの知恵」を学ぶことができる多彩な体験プログラムにより、**東北地方固有の風景や文化の継承**に寄与している。

【効果】地域固有の風景や文化の保存

東北6県の19世紀古民家の移築復元を通じて、みちのくの暮らしの文化を今に伝えている。



【岩手県の郷土芸能「鹿踊り」】



【田んぼでの米づくり体験】

- 尾張徳川家の邸宅・庭園である「徳川園(名古屋市)」は、戦後にプール・図書館等を配した現代的な都市公園として利用されていたが、歴史的資産としての本来の魅力を引き出すべく、**日本庭園として再整備**を行い、平成16年にリニューアル開園した。
- 隣接する「蓬左文庫(名古屋市)」、「徳川美術館(徳川黎明会)」と一体となり、**年間約250万人が訪れる近世武家文化の発信拠点として、地域の歴史・文化の伝承に寄与している。**

Before → After
徳川園平面図



【改修前の「葵公園」】

野球場、テニスコート、
プール、図書館など



【日本庭園として整備後の園内図】

尾張徳川家の邸宅・庭園の
歴史を今に伝えている。

【効果】日本庭園を中心にした地域の歴史まちづくり化



【地域と連携した山車揃え】



【十五夜を觀賞する観月会】

- 岡東中央公園(枚方市)は、市のメインストリートとバス通りに隣接しており、市の玄関口に位置する公園。
- 公園のリニューアルによる、広場空間の拡大、メインストリートからの導線整備など通りとの一体感の向上、大型車両が進入できる開口部の設置などにより、多くの人が集まる公園に。
- 祭りやイベントなども多く開催され、地域の文化継承や文化交流の場として機能している。

【効果】地域文化の継承

- ・ 公園内の空間が広がったことを機会に、地域のまつり「ふとん太鼓」では、公園内を利用した巡業を実施。
- ・ 公園の広場で行うことで、歩行空間ができ、より多くの市民が祭りを間近で楽しめるようになった。

Before



After



【再整備前の岡東中央公園のふとん太鼓の様子】
公園の広場が狭いため、緑道を占用して祭りを実施



【再整備後の岡東中央公園のふとん太鼓の様子】
公園内を会場として、緑道を占用なくなり、歩行空間ができた



【ひらかた菊フェスティバル】
約48,000人/平成19年度



【大坂めっちゃハッピー祭】
約3,000人/平成19年度

- 平和祈念公園(沖縄県)は、沖縄戦の写真や遺品などを展示した平和祈念資料館や平和記念像などが設置され、平和の情報発信の場として機能している。
- また、南部管内唯一の広域公園として、広く県民、観光客に利用されており、**エイサー奉納など、地域の伝統・文化に基づくイベント開催により、文化伝承に寄与している。**

【効果】伝統・文化の継承



【平和記念資料館】

旧盆エイサー奉納



【琉球新報 平成27年9月2日】



エイサーの本来の意味である、み霊の供養のため、地元青年会が行うエイサー演舞により、伝統・文化の継承並びに恒久平和を発信している。



【平和の礎】

親子カババイ(凧)大会



多目的テラス広場において昔ながらの正月風景を再現する事で、旧暦行事の継承と伝統凧であるカババイを受け継いでいく場となっている。

- 高校野球記念公園(豊中市)は、高校野球発祥の地として、第70回大会(昭和63年)を記念して、日本高等学校野球連盟・朝日新聞社・豊中市の共同で、箕面有馬電気軌道(現 阪急電鉄)が所有していた豊中グラウンド跡地の正面に整備した公園。
- 甲子園で行われる春・夏の高校野球大会の出場選手等が、その時期になると来園する場となっている。**公園があることで地域住民が地域の歴史を知り、愛着を深めるきっかけとなっている。**

【効果】地域の歴史を伝承

- ・公園があることで、市民が居住する土地の歴史を知り、誇りを持つことで愛着が生まれる。
- ・高校野球球児やファンが高校野球記念公園を訪れることで、地域住民のブランド意識が生まれ、マスコミにも取り上げられる効果がある。

Before



大正2年ごろの豊中グラウンド

【高校野球が初めて開催されたグラウンド】



After



【現在の高校野球記念公園】

More ■■■

【一層のストック効果向上に向けた取組】：拡張再整備の実施

開発許可制度により、既設公園の隣接の用地を取得し、拡張再整備を実施する予定。拡張再整備の実施に向けてワークショップを開催し、地域に残る当時の煉瓦塀を保存することも予定するなど、地域も巻き込んだ整備を進め、高校野球発祥の地として、豊中市のブランドの一つと位置づけ、平成28年度に完成予定。

現在、豊中グラウンドは宅地化により失われたが、一部の遺構と公園の存在が、高校野球の歴史を今に伝えている。



【民家に残る煉瓦塀】



【公園内の既設のレリーフ】



【拡張後のイメージ】

- 浦添カルチャーパーク(浦添市)では、まなびフェスタなど年間800件を超える様々なイベント(レクリエーション・体験学習等)を開催することで、**市民の生涯学習や文化活動への参加促進に寄与**している。
- また、公園内には、てだこホール(市民会館)や図書館、美術館等があり、**文化交流拠点として機能**しており、**年間45万人**の県民・市民に利用されている。

【効果】文化活動への参加機会の提供

生涯学習意欲を高める

まなびフェスタは、浦添市教育の日関連事業として毎年2月に開催しています。このイベントは、浦添市と市内の各種団体の共同主催です。生涯学習に関する活動事例や学習情報を提供することにより、市民一人ひとりの生涯学習意欲を高め、学習活動の参加へとつながっています。



期間中は、紙芝居や子どもたちの歌やダンスの舞台発表、市内企業・団体による体験コーナーなど様々なイベントがあり、老若男女問わず楽しんでいました。

また今年は、イベントに参加し、ビンゴを完成させると素敵なプレゼントがあたる「スタンプラリービンゴ」も行われ、会場は大いに盛り上がりました。



(まなびフェスタ@てだこ広場)

- 【広報うらそえより】
- 主なイベントの参加者数
 - ・まなびフェスタ 約9千人
 - ・文化祭 約2.8千人

【様々なイベント@てだこ広場】



(第六回 沖縄国際映画祭)

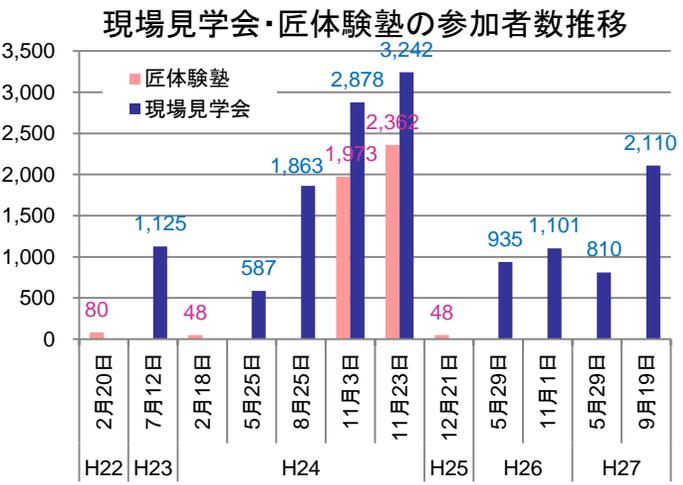
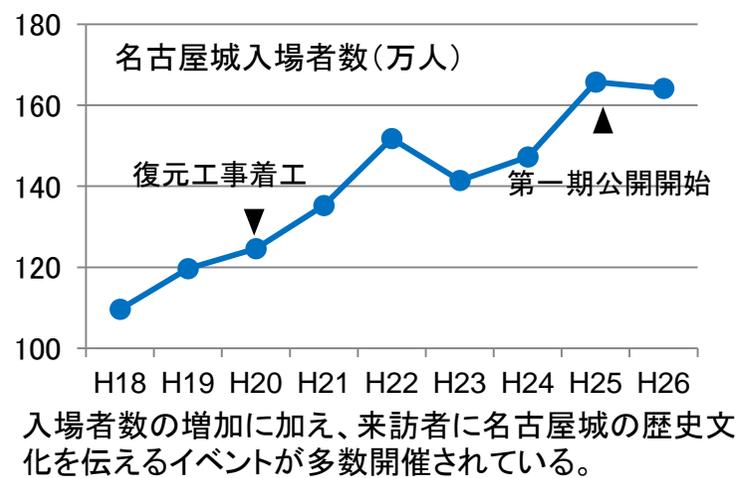
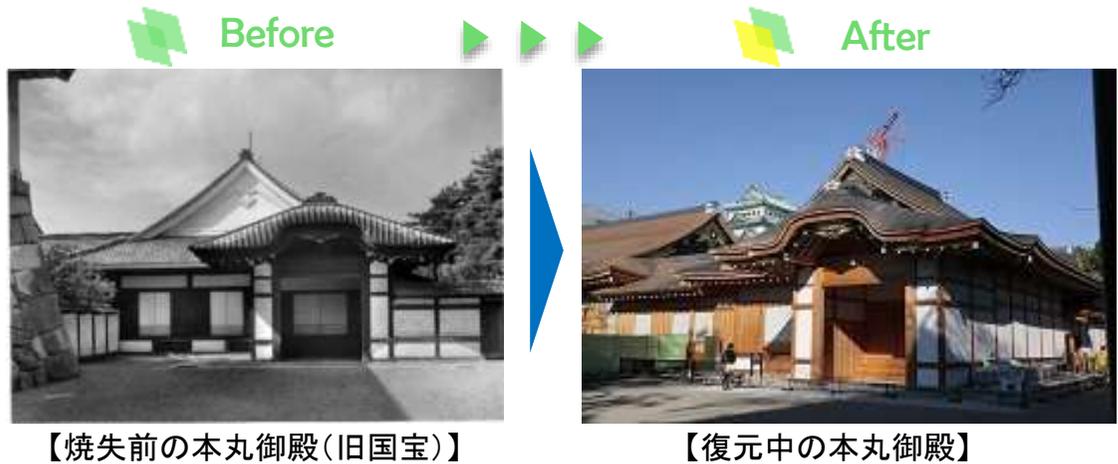


文化施設イベント件数と公園利用件数の推移



伝統技術や地域の歴史文化の理解を促進！

- 名城公園(名古屋市)は、名古屋城を中心に広がる総合公園であり、戦災で焼失した本丸御殿(旧国宝)の復元工事の進捗にあわせ、完成部分から順次公開を行っている。
- 施設の復元のみではなく、工事見学会、伝統技術(木造技術、復元模写)にふれる体験会、地元学生によるガイドツアー等を実施し、**伝統技術や地域の歴史文化の理解に寄与している。**



- 城山公園(大州市)の大洲城の天守は老朽化により明治時代に解体されたが、**地元住民の保護活動と寄附**により、平成16年に復元された。
- 豊富な資料のおかげで**当時の姿を正確に再現した戦後初の木造復元の天守**。
- 江戸時代から残る台所櫓・南隅櫓など4棟の櫓は国の重要文化財、城跡一帯が県指定史跡に指定されている。

【効果】歴史の継承



明治期の写真、築城当時の雛形、発掘調査によってかつての四層四階の天守を忠実に復元。
高さは19.15mとなり、本来であれば建築基準法で認められないものではあったが、2年の折衝を経て、保存建築物として建築基準法の適用除外となり、往年の姿の復元となった。

歴史的なイベントとして、かつて実在した大洲藩鉄砲隊を復活させ、大洲城本丸にて、毎月第3土曜日に公開練習を行っている。

○舞子公園(兵庫県)は、歴史的建造物である国の登録文化財(旧木下家住宅、旧武藤山治邸)を活用し、日本古来からの伝統文化に触れる体験イベントや音楽会、学術講演を実施している。また、地域住民の文化活動の発表の場としても活用されており、**文化や芸術、学術の継承・発信に寄与**している。

【効果1】日本古来の文化の継承発展

- 近代和風住宅(数寄屋造)の旧木下家住宅では、庭園や茶室を活用した日本の伝統文化を愉しむ和の催し物を開催。

平成27年度
約124イベント約2,500が参加



【旧木下家住宅】

【効果2】芸術、学術の継承発展

- 明治期の西洋館(コロニアル様式)旧武藤山治邸では、サロンコンサートやクラシック音楽などのイベントを開催。
- 近隣ホテルと連携したブライダル撮影実施。

平成27年度
約54イベント約4,500が参加



【旧武藤山治邸】



【抹茶体験】



【日本の作法体験】



【サロンコンサート】



【ブライダル撮影】

- 一庫公園（兵庫県）が位置する川西市北部は、古くからクヌギの炭焼きが盛んに行われており、炭の断面が菊の花に似て美しいことから「菊炭」と呼ばれ、お茶席用の高級品として全国に出荷されている。
- 一庫公園では、地元の団体が炭の材料となる台場クヌギを公園内で管理、伐採し、公園内の炭焼き窯で炭焼きを行うことで、**地域の伝統文化、技術の継承に寄与している。**

【効果】地域の伝統を継承

- ・炭の材料となる台場クヌギの管理から炭焼きまで、一連の作業を公園内で行っている。
- ・公園利用者による炭焼き体験やほだ木づくりなどの里山の伝統を伝えるイベントを実施



【菊炭（一庫炭）】



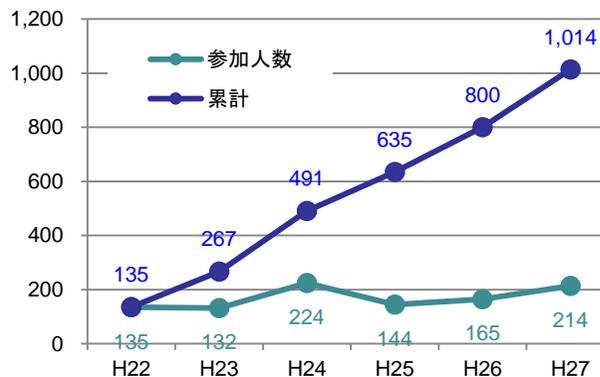
【台場クヌギ】



【台場クヌギの伐採】



【炭焼き窯への火入れ】



【炭焼き教室の参加者数】



【窯(炭)出し】

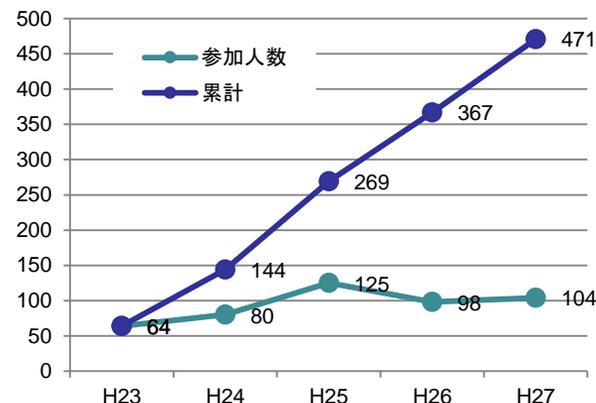
- 丹波並木道中央公園(兵庫県)は、**日本で唯一、製材所のある公園**として、「森づくりから森づかいへ」をコンセプトに、公園内の森林を計画的に間伐、製材、加工し、公園資源を循環。
- 里山管理講座を開催するなど、**地域の里山管理のモデル**となっている。
- 棚田で昔からこの地域に伝わる赤米栽培を行っており、田植えや収穫体験等を実施し、丹波の原風景を保全することにより**都市と農村の交流に寄与**している。

【効果】地域の里山保全のモデルに

- ・製材した間伐材はボランティアにより公園内のベンチやおもちゃに加工。
- ・来園者向けに木工教室も開催。
- ・企業CSR活動として森林整備体験を受け入れ、昼食には地元の団体が地元の食材を利用した料理を振る舞い交流。
- ・阪神地域からの来園者が約3割を占めるなど、都市と農村の交流及び地域活性化の拠点に。



【神戸市内の幼稚園の田植え体験】



【里山スクール参加者数の推移】



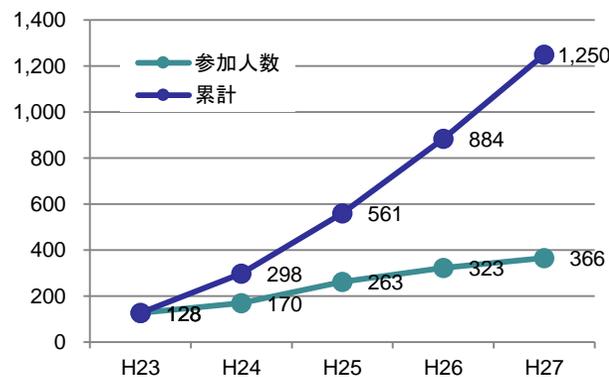
【公園内の製材所】



【間伐材で作ったおもちゃ】



【企業CSR活動】

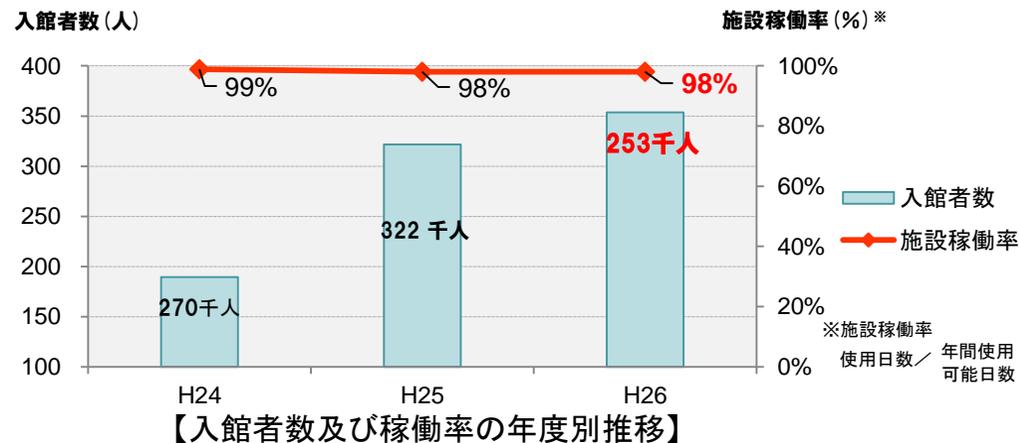


【企業CSR活動(住友ゴム工業)参加者数の推移】

- 国営昭和記念公園では、**都市における緑の文化の創造・発信拠点**として花みどり文化センターを平成17年に整備。
- 花みどり文化センターでは、花や緑をテーマとした展示・講習会等を開催。
- 講義室・研修室は、外部の団体・個人による講座等も多数行われていることから稼働率はほぼ100%であり、**官民が連携した緑の文化の情報発信拠点**として機能している。



【屋上緑化を行い、特殊緑化の普及啓発を推進】



【入館者数及び稼働率の年度別推移】



【ボタニカルアート教室】



【盆栽教室】



【花・緑文化センターボランティア】

⑥子育て、教育

目 次

分類	タイトル	公園名	事業主体	頁
子どもの育成	公園と一体となった子育て支援拠点！	千秋が原南公園	長岡市	72
子どもの育成	森のようちえんとして子どもを育む公園	甲山森林公園	兵庫県	73
子どもの育成	野球を通して子どもを育てる！	淡路佐野運動公園	兵庫県	74
子どもの育成	冒険遊びや自然体験を通じてみどりの豊かさを実感！	こどもの森緑地	練馬区	75
環境教育	溪谷の自然を活かした環境学習・体験の場！	鳥川溪谷緑地	長野県	76

- 千秋が原南公園（長岡市）では、冬でも遊べる**全天候型屋根付き施設と地域子育て支援拠点を一体的に整備**。「子育ての駅千秋（てくてく）」として長岡市が管理運営を行い、交流イベント等はボランティア「子育ての駅サポーター」の協力のもと実施。
- 保育士常駐による子育て相談・子育て世代の交流支援、一時保育室（一時預かり）等を実施**しており、オープンから6年目で**来館者数が100万人に達するなど、多くの子育て世代に利用**されている。

【効果】子どもの遊び場確保と子育て支援の充実



- ・都市公園事業と子育て支援事業の連携により、地域の子どもの遊び場を確保するとともに、子育て支援を充実。
- ・運営にあたっては、市民が積極的に参画できる子育ての駅運営委員会を設置するとともに、子育ての駅サポーター制度を設け、市民協働型の事業運営を展開。
- ・相乗効果として、利用者の増加につながっている。
【利用者数1,090,323人（H27.11.30時点）】



【施設と公園を活用した子育て関連イベントを多数実施】

- 甲山森林公園(兵庫県)は、地域の開発が進む中、甲山周辺の緑地約83haを県立都市公園として整備し保全。
- 自然豊かで安全・安心な環境整備が評価され、多くの幼稚園、保育園が園外保育等に訪れる。

【効果】自然の中の幼児教室

- ・都会では貴重な自然環境を活用した幼児教育の場として「森のようちえん全国ネットワーク」に加盟する2団体が幼児教育の場として活用。
- ・他にも概ね46団体の幼稚園、保育園が園外保育の場として活用(主に遠足に利用)



開発された都市部に残る自然環境

なぜ甲山森林公園なのでしょう・・・

森のようちえんのフィールドとして適した森を探すために、1ヶ月に二日のペースで約2年に亘り4府県の森林公園や植物園を歩いて調査してきました。

毎回10km以上歩き回ってようやく理想に描いた森にたどり着いたのが甲山森林公園でした。

甲山の周辺の森は、市街地近郊にありながら大変良好な状態で保全されその植生も多様であり、静かであつ生き物の活動に満ち溢れ、起伏に富んだ地形が様々な活動の可能性を明示していました。また森林公園内には一般車両の乗り入れはなく危険な人工物も少なく、また遊歩道やトイレ・休憩所・広場・遊具が適切に配置され、公園職員の皆様や公園ボランティアの方々のご努力によって整備されていて、就学前の幼児たちにも安全と安心が保障されていました。

小高くそびえる甲山への登山道は4・5歳児にはちょうどいい距離と標高であり、森を下った先にある仁川のせせらぎやなかよし池、そこに棲む魚や両生類・鳥たちは最高の友人になれると確信をもちました。

「森の幼稚園 くるみ」HPより

野球を通して子どもを育てる！

- 淡路佐野運動公園(兵庫県)では、“淡路・徳島交流少年野球大会”を毎年開催することで、**野球を核とした地域間交流を進めている。**
- 平成20年度から阪神タイガース現役選手等による“少年野球教室”を毎年開催。**一流の選手との触れ合いにより、子供達の教育の場を創出し、夢を育てている。**

スケールメリットを活かし、大規模大会を開催！



本公園は、河川敷公園※を除き全国最大級(最大8面)の野球場面数を誇り、48チーム以上が参加する近畿圏の大規模な少年野球大会などが開催される。

※河川敷地公園では、バックネット等が常設できないことから、大会運営上課題があり、公式大会の開催は困難である。

【効果2】子供たちの教育の場の創出

一流の選手との触れ合いにより、スポーツに勤しむ子供達の夢を育てる。人気のある教室であり、抽選により参加者を決める。



【効果1】野球を通じた広域交流の促進

少年野球を通じて、淡路島と徳島県の子供達の友情を育み、交流を促進している。



【淡路・徳島交流少年野球大会】

【少年野球教室】

- こどもの森緑地(練馬区)は、子ども達が冒険遊びや自然体験を通じてみどりの豊かさを実感することで、将来のみどりの保全や創出に関する意識の向上につなげるため、周辺に屋敷林や農地が残る住宅地に開設。
- 建物や舗装は必要最小限とし、木登りや泥遊び、秘密基地づくりなど、子ども達が創造力を働かせて次々と新しい遊びを生み出せる場を提供する事で、**子ども達の健全な発育に寄与。**

【効果】子どもの健全な育成



プレーリーダーを複数常駐させることで、子ども達のがのびのびと、且つ安全に遊べる環境を実現

一日の最多来園者数 1,130人
平成27年4月26日(日)
休日平均 211人/日

【利用者の声:こどもの森アンケート欄より抜粋】

- ・子どもが工夫して遊べる。自由な発想で遊べるところが良い。
- ・土や自然が苦手だった息子も、回数を重ねる毎に、いろいろなものに挑戦できるようになってきた。
- ・プレーリーダーは、施設管理のための管理人と違い、子どもの行動ひとつひとつに目を光らせる親とも違い、ちょうど良い距離感で子どもと付き合ってくれる。そういう人がいることに、親として安心できる。

【こどもの森の取組み】

- ①冒険遊びや自然体験により、みどりに親しむ機会を提供
- ②子どもの自由な外遊び体験の場の提供
- ③畑を活用し、農業体験の場を提供
- ④大学や企業と連携したワークショップ等を実施
- ⑤ニュースレターを通じて、遊びや運営に関する事項を周知

- 鳥川溪谷緑地(長野県)は、国営アルプスあづみの公園と機能を補完しあいながら、一体となって整備された都市公園である。
- 溪谷の自然を守り、活かしながら利用するため、整備は園路にとどめ、環境を保全するとともに、ソフト面では、カタクリ観察会やオオルリ観察会、市内小学校の環境学習会など、大人から子供まで幅広く対象にした**体験型環境教育の場**として提供している。

【効果】環境に対する興味・関心を高める

【一般向け公開学習会】

平成17年から平成26年までの10年間で約3,100人が参加！

【子供向け環境学習会】

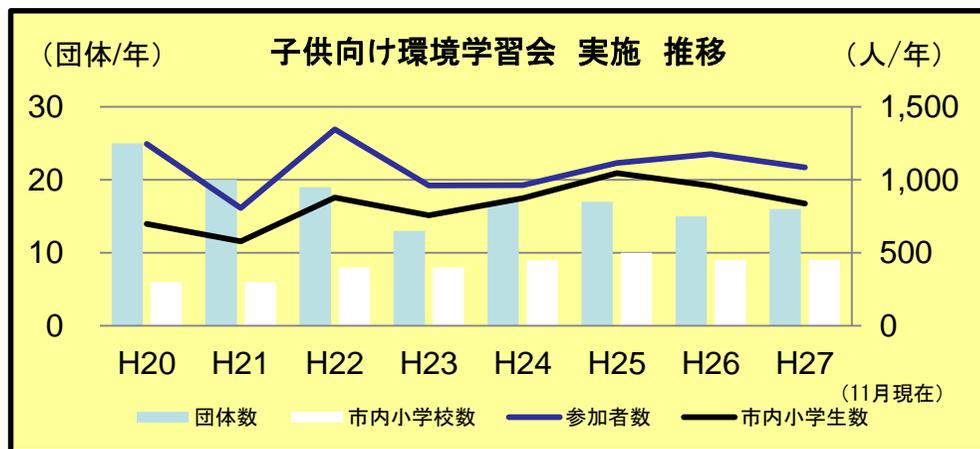
平成26年度は、対象校 10校、約1000人が学習(市外も含めると、約1200人)！
今後も50年継続すると安曇野市民の約半数が環境教育を体験できる試算となる。



【カタクリ観察会の様子】



【子ども向け環境学習会の様子】



【環境学習参加者(子どもたち)の声】

⑦ コミュニティ形成効果

目 次

分類	タイトル	公園名	事業主体	頁
コミュニティ形成	だんじりが集結！祭りで地域のつながりを形成！	末広公園	大東市	79
コミュニティ形成	都市公園で市民協働の森づくり	帯広の森	帯広の森	80
コミュニティ形成	公園での活動が生む地域のつながり	バンビオ広場公園	長岡京市	81
コミュニティ形成	公園自主管理団体と商店街の連携による 地域コミュニティの拠点！	新井宿第一児童公園	大田区	82
コミュニティ形成	新たな公園愛護会の結成によるコミュニティ活性化！	振甫公園	名古屋市	83
コミュニティ形成	闘牛場を擁する公園が多様な交流の場を創出！	伊波公園	うるま市	84
コミュニティ形成	イベントを通じた市民協働ネットワークの構築！	箕面公園	大阪府	85
コミュニティ形成	次世代に渡る「豊かな森」を県民の力で再生！	びわこ地球市民の森	滋賀県	86
コミュニティ形成	歴史的土木遺産との一体的整備により地域の 賑わい・交流の創出	鼻ぐり井手公園	菊陽町	87

だんじりが集結！祭りで地域のつながりを形成！

- 末広公園(大東市)は、市街地に囲まれた駅前の公園であり、だんじり祭りでは、地域に培われた伝統文化である**祭りの地車が一同に結集する場として、地域の文化芸能の伝承に寄与している。**
- また、市内の市街地内の広場として、フリーマーケットや、市民祭り等の様々なイベントに活用されるなど、**地域のコミュニティ形成に貢献している。**

【効果1】地域の文化芸能の伝承

- ・市内の各地域に存在するだんじりが結集する場として活用。
- ・だんじりは市内各公園に集まるが末広公園は駅前ということもあり特に盛大な集まりとなっている。



【1818年(江戸時代)ごろより脈々と続く伝統文化の発信と交流に寄与】

【効果2】様々なイベント実施による地域コミュニティ形成

- ・祭りをはじめ、様々なイベントを開催することで地域コミュニティ形成の拠点となっている。



【大東市民まつり】



【消防フェア】



【農業まつり並びに農産物品評会】

- 帯広の森は、市街地南西部に位置する農地を帯広市が買収して整備された公園。
- 30年にわたって行われた市民植樹祭などを通じて、これまで延べ約15万人の市民の手によって約24万本の樹木が植えられた。
- 平成22年4月に、帯広の森の育成管理・利活用の拠点として、「帯広の森・はぐく一む」を開設。現在、6つの市民団体により、間伐などの森づくりの活動が行われている。

【効果】森づくりを通じたコミュニティ形成

市民協働の森づくりにより、市民のまちづくりに対する関心が向上。森づくり活動に関心のある市民に活動の場を提供すると同時に、帯広の森の機能を増進。



【帯広の森市民植樹祭】



【帯広の森市民育樹祭】

【一層のストック効果向上に向けた取組】帯広の森の育成管理・利活用拠点の整備

「帯広の森」の育成管理・利活用の拠点として建設した「帯広の森・はぐく一む」では、間伐などの森づくり体験、自然観察、木工、ウォーキング、ペレットづくりなどの行事を行うほか、「帯広の森」に関するさまざまな情報を発信している。



【森づくり体験(間伐体験)】



【帯広の森・はぐく一む】

公園での活動が生む地域のつながり

- バンビオ広場公園(長岡京市)は、JR長岡京駅前の空間を利用して、市街地再開発事業によって整備された公園。この公園は「みどりのサポーター制度」に基づく活動が行われており、平成27年に**市民提案による「未来につながる花の竹回廊」が設置された。**
- みどりのサポーターは10年間で1,000人以上に達し、市内の公園での活動を通じて地域コミュニティが形成されるとともに、みどりのサポーター間の交流など、地域を超えたつながりが生まれている。**

Before



【整備前】

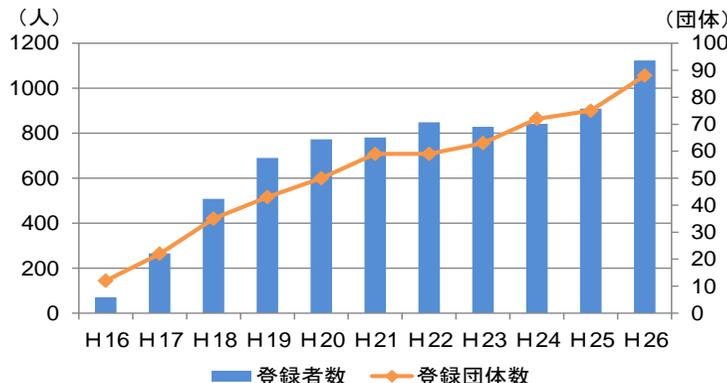
After



【未来につながる花の竹回廊】



【みどりのサポーター提案のスケッチ】



【みどりのサポーター登録者数及び登録団体の推移】

【効果】地域間交流の創出

市内の公園で花壇づくり、美化活動等の活動を通じて、地域のコミュニティが形成。
さらに、サポーター間の交流会、他のサポーターの活動状況の視察など、地域を超えたつながりが生まれた。



【地域を超えたサポーター同士のワークショップが自主運営で開催】

- 新井宿第一児童公園(大田区)は、公園までの接道が1箇所のみで狭く、知る人ぞ知る公園であった。
- 平成24年度から「おおた高齢者見守りネットワーク」(愛称:みま~も)が協定により公園の自主管理を開始。**高齢者を対象とした公園体操等の活動を通じて、商店街と地域コミュニティの拠点として活用。**
- 平成26年4月には商店街やみま~も等と連携して公園を全面改修し、**健康づくりが出来る器具や農業体験ができるミニ農園を整備し、地域活動の場として活用されている。**

Before After



【公園改修前】

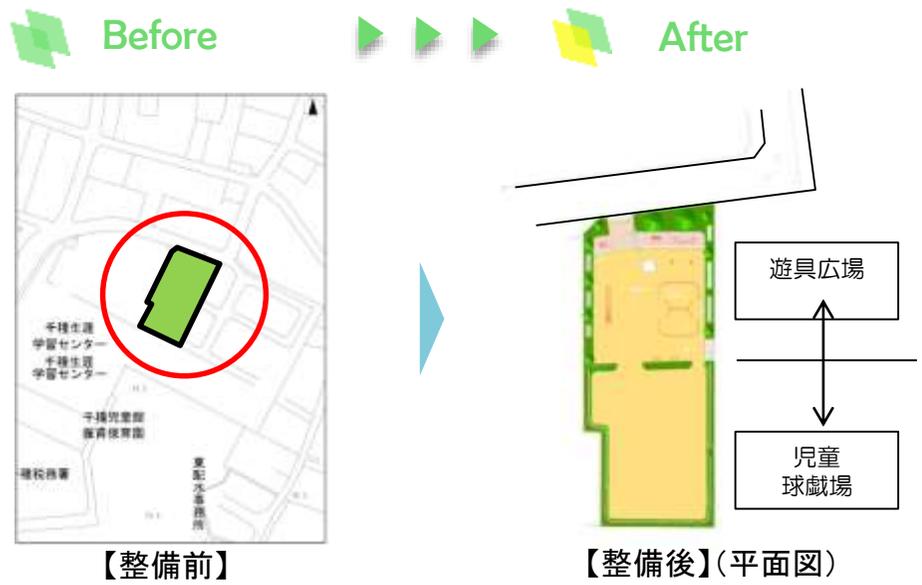
【公園体操(ホールウォーク)の様子】

【効果】地域コミュニティの拠点の創出

公園は商店街と線路に挟まれて立地しており、利用が少ない状況だったが、みま~もによる公園自主管理活動や地元商店街の協力により、公園利用の活性化と全面改修につながった。



- 振甫公園(名古屋市)は、県が売却予定であった土地に対して、当該学区の住民だけでなく、多くの近隣周辺学区の住民も公園化を望んで完成した公園である。
- 整備計画を立案する際に住民参加型ワークショップを採用したことにより、新たに公園周辺の地域住民を中心とした公園愛護会が結成され、コミュニティの活性化につながった。



【整備前】



【整備後】

【効果】計画の参加型検討過程を通じた新たなコミュニティ形成効果



【ワークショップ状況】



【完成式典状況】

闘牛場を擁する公園が多様な交流の場を創出！

- 伊波公園(うるま市)は、うるま市旧石川地域において2番目に新しい公園である。所在する伊波区には、当該公園の設置以前には公園がなく、また隣接する地区(嘉手苅区、山城区、城北区等)にもない状況であった。
- 公園設置により、行事等の開催が盛んとなり、**地域住民の交流機会の増加に貢献**している。



【効果】地域住民の交流機会の増加

当該公園の設置により、グラウンドゴルフ・ゲートボール等の行事が盛んに開催され、地域住民の交流機会の増加に繋がっている。
 平成26年度の借用件数(主に保育園等の団体)が市内で最も多く(31件)、当該借用にかかる利用者数は延べ2,200名以上になっている。
 以前に地域で行われていた闘牛の開催が復活(平成26年7月)する等、伝統行事の継承にも多いに貢献している。



【闘牛の復活】

○箕面公園(大阪府)は、明治の森箕面国定公園の一角に位置する公園。公園全体を「フィールドミュージアム」として捉え、豊かな自然環境を活かした多彩なイベントを継続的に展開。
 ○NPO・市民団体との協働によって、各種イベントを開催するとともに、意見交換会を実施し、協働のネットワークを構築している。

【効果1】ネットワークを軸とした自主イベント

幅広い世代を対象に、公園の特性を活かした多彩なイベントを「まちやま」スタイルとしてわかりやすく提案し、季節の移り変わりに連動させて継続的に展開。



【自然観察会】
(9回開催、参加者数105人)



【新緑まちやま うきうきフェスタ】
(来場者数約500人)



【自然工作教室】
(参加者数180人(出前講座含む))



【まちやまオータムフェスタ】
(参加者数約700人)

【効果2】地域の安全連絡体制の構築

箕面公園の内外で活躍するNPO・市民団体と活動情報を共有。平成27年4月からは、「まちやま意見交換会」にて提案された「滝道」安全ネットワーク(滝道沿いに安心安全のための緊急連絡体制:安心・安全メール配信サービス)を運営開始。同サービスには約50件の団体等が登録している。



- まちやま意見交換会の様子
 【参加団体(協働ネットワークコアメンバー)】
- ・NPOみのお山麓保全委員会
 - ・箕面の山パトロール隊
 - ・箕面観光ボランティアガイド
 - ・箕面FMまちそだて
 - ・箕面市(商工観光課・健康福祉課)
 - ・大阪府(池田土木事務所)
 - ・メイプルハーツ企業共同体



【平成25年度に府民協働ネットワークで提案した箕面公園「まちやま」スタイル】

箕面公園「滝道」安全ネットワークの運営開始(27年4月)

箕面公園とその周辺の関係機関・団体の皆様、安全の確保のため、緊急に提供する必要がある内容を、箕面公園管理事務所より、関係者の皆様に携帯電話スマートフォン、PCを通じて迅速に電子メールでご連絡するサービスの運営を開始

- ・公園の利用禁止措置に関わる情報(異常気象時、滝道等での崩落・剥落災害警戒等)
- ・安全情報(繁忙時における混雑状況等)
- ・イベント・ライトアップ等の中止情報(気象状況等による)

滝道沿いに、安心安全のための緊急連絡体制を構築



びわこ地球市民の森(滋賀県)は、旧野洲川南流の廃川敷を公園として整備することによって、**緑の復元と自然環境の再生**を目指している。

- 平成13年度から延べ**45,994人**で**160,967本**の植樹活動を実施(平成27年3月31日現在)。
- 平成25年度から「**県民森づくり講座**」を開始しており、県民の交流、環境学習の拠点としても機能。

【効果1】豊かな森の景観形成

- かつて身近にあった「豊かな森」を、長い年月をかけ、世代を越えて再生させるために、県民による植樹活動を平成13年度から実施し、新たな森の景観形成に寄与。

※個人301名、団体11団体が「森づくりサポーター」として定期的に森の維持管理活動を実施。
「びわこ地球市民の森のつどい」を年1回開催。

【効果2】県民交流・環境学習の拠点形成

- 森づくりセンターにて森づくりサポーター情報交換会を開催。サポーター同士の連携を高めると共に、今後の公園のあり方について検討することで県民交流の拠点形成に寄与。
- 指定管理者が「県民森づくり講座」を主催。年10回の座学と3回の実習を通して、身近な自然と森づくり活動について学習の場を提供し、教育機能向上に寄与。



【植樹活動】



【びわこ地球市民の森のつどい】

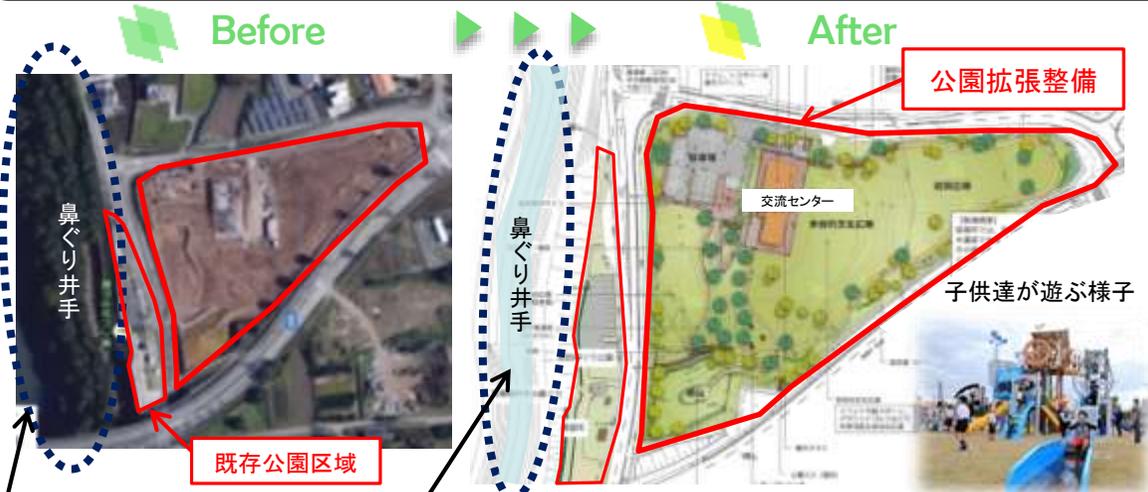


【森づくりセンター】



【県民森づくり講座】

- 鼻ぐり井手公園(菊陽町)は、地域区長、文化財ボランティアガイド、PTA関係者、認定農業者等から構成される住民検討会により、平成23年度に基本構想を策定。
- 隣接する**歴史的土木遺産である「鼻ぐり井手」**の理解を深める場、**地域交流の場、子育て支援の場として整備され、地域の新しい地域コミュニティ拠点として親しまれ、活用されている。**



【効果】地域の賑わい・交流の創出

- ・鼻ぐり井手の歴史学習に伴うボランティア支援の場(学ぶ)
- ・近隣の小学生や子育て世代の家族等が楽しむ場(遊ぶ)
- ・鼻ぐり井手祭など地域イベントによる地域交流の場(集う)



【鼻ぐり井手祭の様子】

歴史的文化遺産「鼻ぐり井手」

構造概要図

鼻ぐり井手とは穴の開いた壁にぶつかった水流が渦となり火山灰の堆積を防ぐ構造

鼻ぐり井手

ボランティアガイド
(交流センターに常駐)

「まなぶ・あそぶ・つどう」
賑わい交流の公園

ポイント

【地域が参画する公園づくり】公園基本構想の策定において、様々な視点を持つ住民代表により構成される住民検討会で整備後の活用も含めた議論を行うことにより、地域の新しい拠点として親しまれ活用される公園を地域住民と一緒に目指した。

【複数の担当課部署の連携】文化財活用、地域振興を目的に、文化財担当課、地域振興担当課、公園担当課が連携して整備を実施した。

【ボランティアガイドによる歴史解説】交流センター常駐のボランティアガイドによる歴史的土木遺産の解説によって地域活性化に貢献。

⑧ 観光振興効果

目 次

分類	タイトル	公園名	事業主体	頁
インバウンド	沖縄県で最も観光客が訪れる施設！	国営沖縄記念公園		90
インバウンド	海外からも注目される花修景で地域活性化！	国営ひたち海浜公園		91
歴史資源で観光振興	大学跡地を歴史文化・観光交流の拠点へ！	金沢城公園	石川県	92
歴史資源で観光振興	歴史的風致とさくらで地域活性化！	鷹揚公園	弘前市	93
自然資源で観光振興	四季を通じてオホーツクの風景を感じる公園！	オホーツク流水公園	北海道	94
アートで観光振興	埋立処分場が有数の観光地へ	モエレ沼公園	札幌市	95
イベントで観光振興	「水の長井」の観光の中核をなす公園！	最上川河川緑地公園	長井市	96
イベントで観光振興	多様なイベントで観光振興の中核に！	赤穂海浜公園	兵庫県	97
地域一体で観光振興	後楽園から周辺へ人の流れを！	岡山後楽園	岡山県	98
民間活力による観光振興	民間活力のどうにゅうにより賑わい創出！	蓮沼海浜公園	千葉県	99
民間活力による観光振興	緑と集客施設の相乗効果による賑わい創出！	梅小路公園	京都市	100

海外からも注目される花修景で地域活性化！

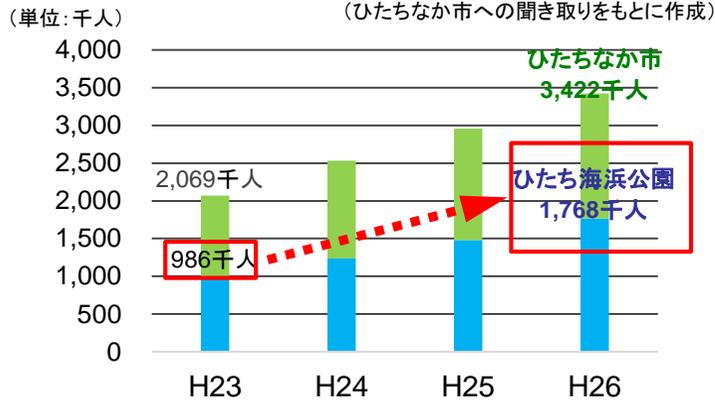
インバウンド

- 国営ひたち海浜公園は、春のネモフィラ等の大規模花修景により、**ひたちなか市を訪れる年間観光客の半数を超える約180万人**が訪れる地域の観光振興拠点となっている。
- 海外メディアにも多く取り上げられることで、海外から茨城県を訪れるツアー客も増加しており、**インバウンド誘致、地域の活性化に寄与**している。

【効果】観光振興の拠点

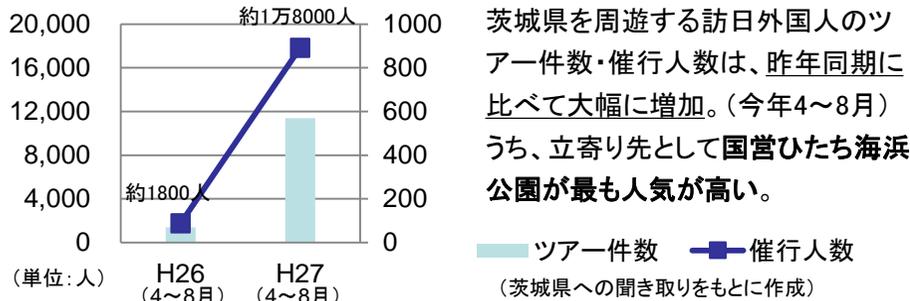
大規模花修景が話題となり、国内外から観光客が訪れる地域の観光拠点に。

【ひたちなか市観光者数とひたち海浜公園入園者数の推移】



【みはらしの丘では、春には青いネモフィラが大地を彩り、秋には紅葉したコキアが丘を赤く染め上げる風景を形成。】

【訪日外国人 茨城県内周遊ツアーの状況】



【アメリカの放送局CNNで、「日本の美しい場所31選」に選定】



【タイの書籍「BEST OF JAPAN」のフラワーガーデンベスト10で1位】

大学跡地を歴史文化・観光交流の拠点へ！

- 金沢城公園(石川県)は、金沢大学の郊外移転に伴い、その跡地を公園化したもので、隣接する兼六園とあわせて、**石川県を代表する歴史文化、観光交流の拠点**となっている。
- 藩政期の「加賀前田家の居城」、明治維新後の「陸軍の拠点」、戦後の「大学」を経て、公園として一般に開放され、**開園以来約1,500万人の来園者が訪れ、地域の活性化に貢献**している。

【効果】観光交流の拠点・地域の活性化

- ・金沢城公園では、史実に沿った本物志向での復元を行うなど、その価値と魅力の向上に努めている。
- ・県内外から多くの来園者があり、また、城郭景観を背景にしたイベント、復元建物を使用したコンベンションも多く開催され、地域の活性化に貢献している。



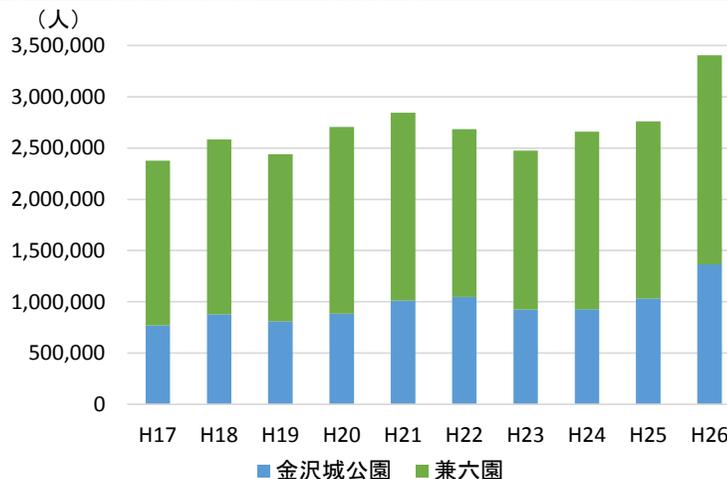
【観光客で賑わう金沢城公園】
背景は、菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓(H13復元)



【百万石まつり】



【復元建物内でのコンベンション】



【金沢城公園及び兼六園の来園者数の推移】

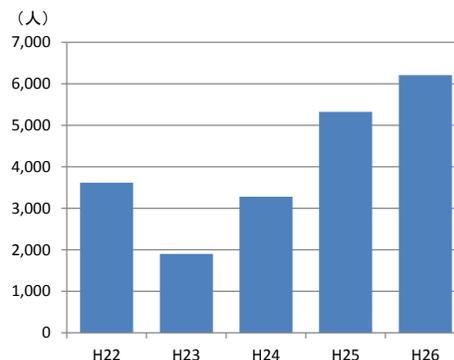
- 弘前市では、鷹揚公園を中心として策定された「弘前市歴史的風致維持向上計画」が、平成22年に東北初の歴史まちづくり法の認定を受け、同計画に基づく園内整備等により来園者の利便性向上が図られたことで、観光消費の拡大や他の観光関連施設への波及効果により地域の賑わいを創出している。
- 弘前さくらまつりには、毎年200万人以上の観光客が訪れ、海外から弘前市を訪れるツアー客も増加するなど、地域の観光振興拠点としてインバウンド誘致、地域の活性化に寄与している。

【効果】観光振興の拠点



弘前さくらまつりは、52種約2,600本のサクラが咲き誇り、国内外から多数の観光客が訪れる地域の観光拠点となっている。

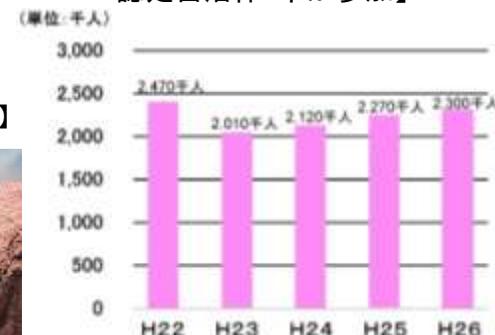
外国人宿泊者数は年々増加し、平成26年度には6,000人に達している。



【外国人宿泊者数の推移(資料:市独自調査)】



【東北初開催となった「東北歴史まちづくりサミット2014」には、認定自治体4市が参加】



【弘前さくらまつりにおける観光客数の推移】
(資料:市勢ハンドブック、青森県観光入込客統計概要)

- オホーツク流氷公園（北海道）は、紋別市の中心市街から約4km離れたオホーツク海沿岸部に立地。
- 「流氷を望み、潮騒が聞こえる、大いなる風景、緑豊かな手づくり公園」をテーマとして、平成17年より整備が進められ、平成26年7月より全面供用開始している。
- 地域特性を活かしたイベントを多数開催し、**四季を通してオホーツクの風景を感じる場**として親しまれており、**平成26年度には年間23万人**が訪れている。

【効果】ここでしか味わえない体験の提供による観光振興



【海のサロンから見た流氷】



【日の出】

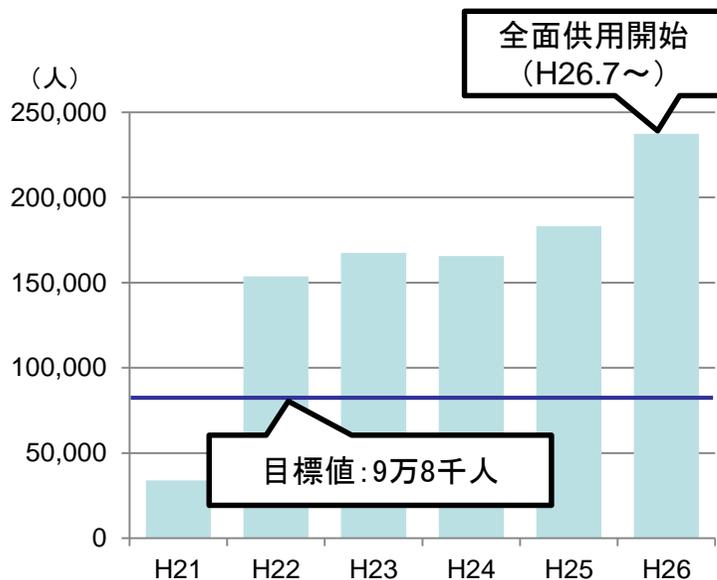


【氷像すべり台】



【ピクニック広場】

流氷遠足、スノーモービルフェスティバル、クロスカントリースキー等、地域の特性を活かしたイベントを多数開催することにより、観光振興に寄与。



【公園利用者数の推移】



【流氷遠足 (2013年2月24日)】



【屋内活動室】

埋立処分場が有数の観光地へ

- モエレ沼公園(札幌市)は、埋立処分場だった場所を「全体をひとつの彫刻作品とする」というイサム・ノグチの基本設計を下に整備し、年間70万人以上が訪れる札幌市の主要観光施設となっている。
- 公園では、自然とアートが融合した美しい景観が楽しめるほか、年間を通して様々なレクリエーションを提供。

Before After



【造成前の埋立処分場】



【モエレ沼公園】

【効果2】自然とアートが融合した独創的な景観形成



【主な受賞歴】

- 1998年 都市公園コンクール建設大臣賞 施工〈公園施設〉部門
- 1998年 日本建築美術工芸協会賞
- 2002年 グッドデザイン大賞・金賞同時受賞
- 2003年 札幌市都市景観賞 ほか

【効果1】札幌市の観光振興

(単位:人)

施設名	平成23年度	平成24年度	平成25年度
円山動物園	791,754	748,321	959,431
モエレ沼公園	666,050	704,970	728,280
サッポロさとらんど	647,010	653,220	674,780
藻岩山※1	126,327	658,090	627,174
滝野すずらん丘陵公園	593,616	635,230	518,831

※1 平成23年4月から12月まで休業

【市内の主要観光施設の中で動物園に次ぐ入場者数
(参考:H26市政概要抜粋)】



【年間を通して利用を促進】

「水の長井」の観光の中核をなす公園！

- 最上川河川緑地公園(長井市)は、かわとまちをつなぐ最上川フットパスの案内看板や休憩施設などを備えた拠点であり、日頃から多くの人に利用されている。
- 長井市の年間観光客数の約2割を占める一大イベント「ながい水まつり／最上川花火大会」の会場であり、市内外から多くの人を訪れる観光振興の重要な拠点となっている。

Everyday ▶▶▶ Event



【ボランティアによる花壇の植栽・管理】



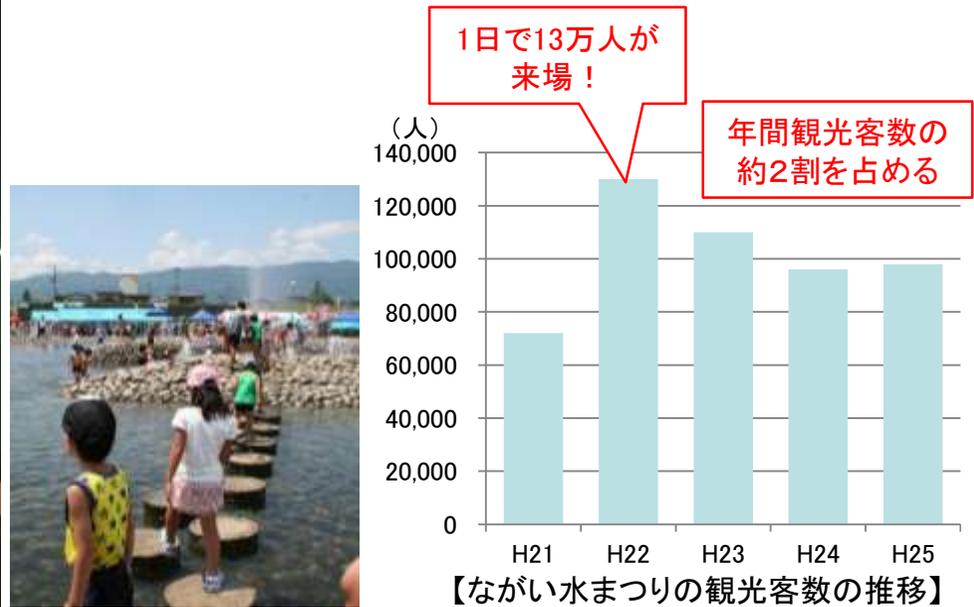
【ながい水まつり最上川花火大会】



【フットパスの利用】

【効果】水の長井の観光振興拠点

「ながい水まつり／最上川花火大会」は、8月第1土曜日の1日限りのイベントであるが、毎年10万人前後と市内外から観光客が訪れる一大イベントとなっている。



多様なイベントで観光振興の中核に！

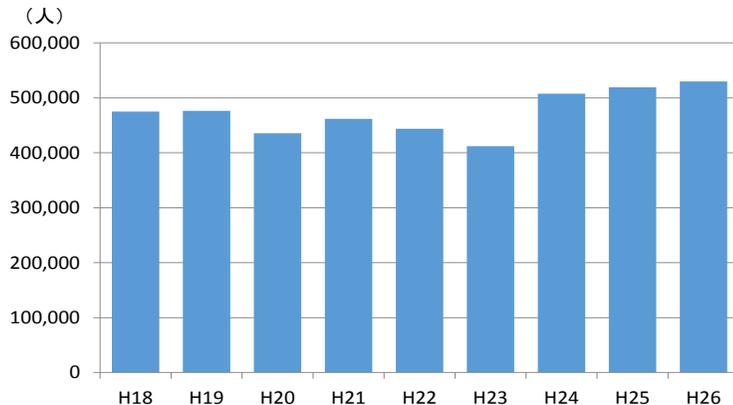
- 赤穂海浜公園(兵庫県)は、「赤穂かきまつり」や「リレーマラソン」といった多様なイベントを企画・実施しており、**赤穂市の観光客の3割**が訪れる赤穂市の観光振興の中核をなす公園である。
- 来園者の75%**は市外から来訪しており、広域的な集客効果を発揮している。

【効果1】観光振興の中核施設

赤穂市における観光客数は、年間約150万人で、そのうちの約3割が赤穂海浜公園を訪れている。
特産品を使った「赤穂かきまつり」では、県外からも多くの方が訪れている。



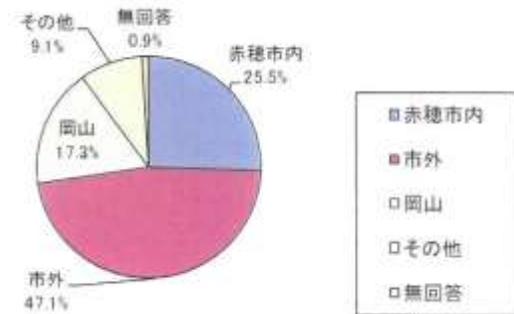
【赤穂かきまつり】



【赤穂海浜公園来園者数の推移】

【効果2】市外からの観光客誘致

来園者の約75%は市外からの来園者であり、多様なイベントの実施により広域的な集客を図っている。



【来園者の割合】



【リレーマラソン】



【市民のタベ】

後楽園から周辺へ人の流れを！

- 岡山後楽園(岡山県)は、約300年前に作られた庭園で、日本三名園の一つ。**ミシュラン・グリーン・ジャポンで三ツ星に認定**されている**岡山県を代表する観光地**であり、平成26年度の入園者数は約70万人にのぼる。
- 岡山城との共通入園券の販売等、周辺文化施設との連携により、**岡山後楽園から周辺施設へ人の流れの形成に寄与**。

【効果】周辺施設との連携による利用数の増加

毎年、夏と秋に開催している夜間特別開園「幻想庭園」には多数の来園者が訪れている。平成26年から、縣市連携により、岡山後楽園と岡山城で行われるイベントの開催期間を統一したところ、岡山城との共通入園券の売り上げが急増した。 単位:人

後楽園入園者数



岡山城との共通券



【岡山後楽園の周辺には多数の文化施設が立地しており、岡山後楽園を中心とした周辺施設への回遊型観光が行われている。】

【一層のストック効果向上に向けた取組】 ミズベリング岡山旭川の開催

平成27年10月、後楽園・岡山城周辺の旭川に親しむとともに、「かわ」と「まち」づくりについて考える「ミズベリング岡山旭川」を開催。

【ミズベリング岡山旭川】



【岡山後楽園 幻想庭園】



【岡山城 烏城灯源郷】

民間活力の導入により賑わい創出！

- 蓮沼海浜公園(千葉県)は、九十九里浜に面する公園で、南北に約4kmと広大な敷地面積を有している。
- 昭和50年の開園以降、公園利用者は着実に増加し、平成25年には約48万人が利用した。
- 近年は民間事業者の活力を積極的に導入し、パークゴルフ場やウォータースライダー等の遊具・施設の充実を図るとともに、通年型観光施設として山武地域の賑わい創出に取り組んでいる。

Before



【整備前】

After



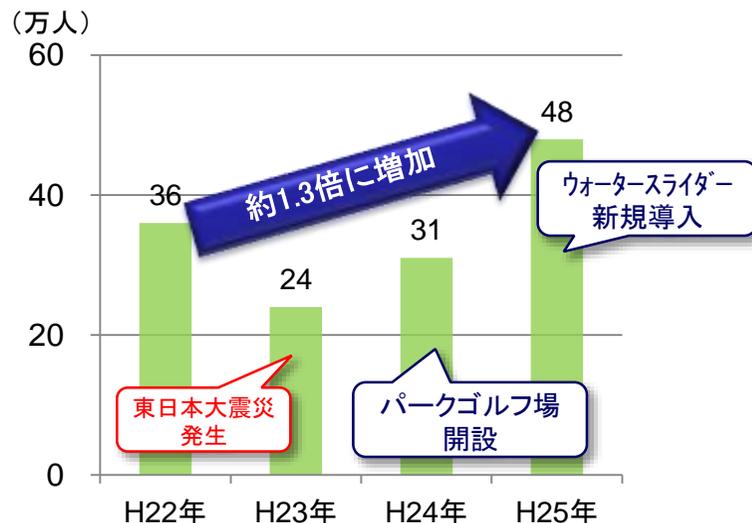
【民間事業者整備のパークゴルフ場】
(H24年18ホール開設、H27年18ホール増設)



【ウォータースライダー】
(県設置2基に民間事業者3基追加)

【効果】民間活力導入による利用者数の増加

設置・管理許可制度を活用した民間事業者による公園施設拡充等により、利用者が震災前から約1.3倍に増加。
また、指定管理者による各種イベント(キャラクターショー、大道芸、フリーマーケット等)の開催が賑わいの創出に寄与している。

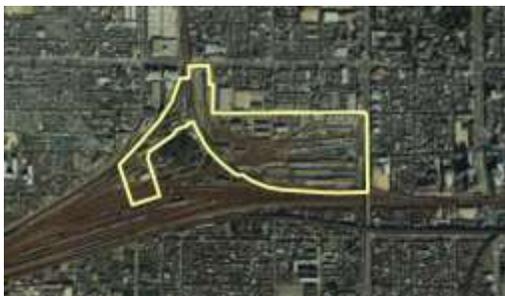


【入込客数(述べ人数)の推移】
(出典)千葉県観光入込調査報告書

緑と集客施設の相乗効果による賑わい創出！

- 梅小路公園(京都市)は「**都心の緑の創造**」を掲げ、平成7年に旧国鉄貨物駅跡地に整備された公園。
- 近年の再整備で、人を呼び込む**集客施設**、**たまり場的機能を持つ広場**を設置し、これらの**相乗効果**で平成26年度の来園者は470万人(推定)と5年前の2.8倍に増加。

Before



【梅小路操車場】
(昭和62年11月撮影)



After



【再整備後(平成●年)】

【効果】広場・集客施設の相乗効果で賑わい創出



【民間事業者による
集客施設運営(水族館)】

(百万人)



緑豊かな芝生広場



【親子で賑わう「すざくゆめ広場」】



【日本最古のチンチン電車の
動態保存】

⑨ 經濟活性化効果

目 次

分類	タイトル	公園名	事業主体	頁
花で経済活性化	お花畑が春の秩父路を代表するスポットに！	羊山公園	秩父市	103
イベントで経済活性化	経済効果は1億円！日光そばまつり	日光だいや川公園	栃木県	104
イベントで経済活性化	九州の食を世界に発信！	天神中央公園	福岡県	105
スポーツで経済活性化	プロ野球のキャンプ地となり約17万人が来場！	清武総合運動公園	宮崎市	106
スポーツで経済活性化	スポーツ合宿利用の促進により地域活性化！	淡路佐野運動公園	兵庫県	107
歴史・文化で経済活性化	宇都宮城の歴史や地域の食文化を発信！	宇都宮城址公園	宇都宮市	108
都心の魅力向上	公園の再整備がまちの賑わいの起爆剤に！	勝山公園	北九州市	109
企業立地促進	企業立地の促進による地元経済の活性化！	国営沖縄記念公園		110

お花畑が春の秩父路を代表するスポットに！

花で
経済活性化

- 羊山公園(秩父市)では、秩父連山を借景にしたシアターのような大地に、秩父夜祭をテーマとした花のアートを描いた「芝桜の丘」を整備。春の秩父路を彩る観光スポットとなり、年間50万人以上の来園者が訪れている。
- スポーツ施設計画地を秩父の自然をメインとした花の公園へ計画変更することにより、新観光スポットとして地域の観光振興に寄与。「芝桜まつり」により15億円以上の経済効果をあげている。

Before After

More...



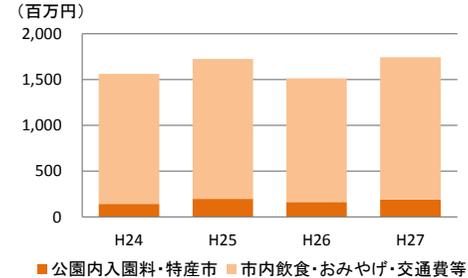
【公園整備前(平成13年)】



【公園整備後(平成19年)】

【一層のストック効果向上に向けた取組】 芝桜まつりの開催

観光・運輸・商工団体を中心に「芝桜まつり実行委員会」を立ち上げ、まちをあげての観光イベントを開催することで、15億円以上の経済効果をあげている。



【芝桜まつりの経済効果】



【芝桜SL(上)と、園内「秩父路の特産市」(左)】

【効果】計画変更により新観光スポットを創出

野球場や多目的グラウンドの整備予定地を、雄大な秩父の自然を活かしたお花畑に計画変更したことで、新たな観光スポットを創出(平成13年度植栽・平成14年度公開)。



【「芝桜の丘」来園者数の推移】



経済効果は1億円！日光そばまつり

- 日光だいや川公園(栃木県)では、平成14年から「日光そばまつり」を毎年開催。市内・県内はもとより、全国各地のそば処が出店するだけでなく、そば道具や日光の物産店なども出店するほか、郷土芸能などの各種アトラクションが開催される。
- イベントには**毎年10万人以上の来場者が訪れ、経済効果は約1億円に上り、日光市の地域経済に寄与**している。

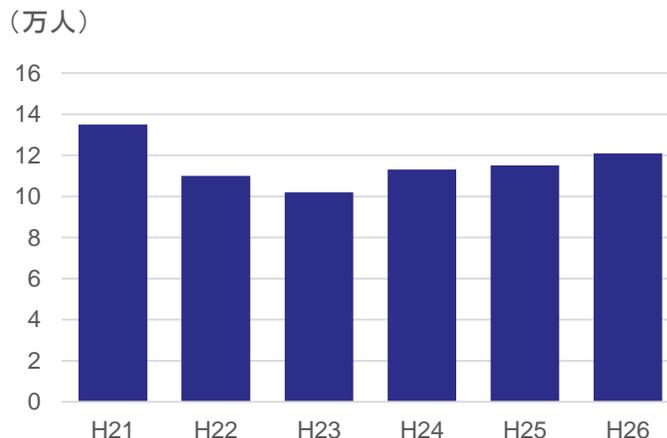
【効果】イベントによる地域経済への貢献

Before Event



【日光そばまつり】

県内有数のそばの生産地である日光市で行われる「日光そばまつり」には、日本各地から毎日約20店舗のそば処が出店。毎年、3日間で10万人以上の来場者が訪れ、来場者の約5%が日光市内に宿泊するなど、経済活性化に寄与している。
※平成26年はイベント期間中の延べ来場者数12万1千人のうち、延べ4,900人が市内に宿泊している。



【日光そばまつり来場者数の推移】



【イベントチラシ】

- 天神中央公園(福岡県)は、福岡市の中心地に位置し、様々なイベントの実施等により**中心市街地の活性化**に貢献している。
- 九州の食を世界に発信することを目的とした「Food EXPO Kyusyu 2015」では、九州グルメが集結した「九州うまいもの大食堂」の会場となり、**4日間で約13.4万人の来場者があり、多くの方に地元の商品をPR**することができた。

【効果】地域経済の活性化

- ・福岡県、福岡市、福岡県商工会連合会、ジェトロ福岡、福岡商工会議所で構成するFood EXPO Kyusyu実行委員会が主催するイベントで天神中央公園を活用
- ・中心市街地の賑わい創出及び地場食品関連企業の売り上げ向上、販路拡大、地域経済の振興に寄与



【Food EXPO Kyusyu 2015「九州うまいもの大食堂」の様子】



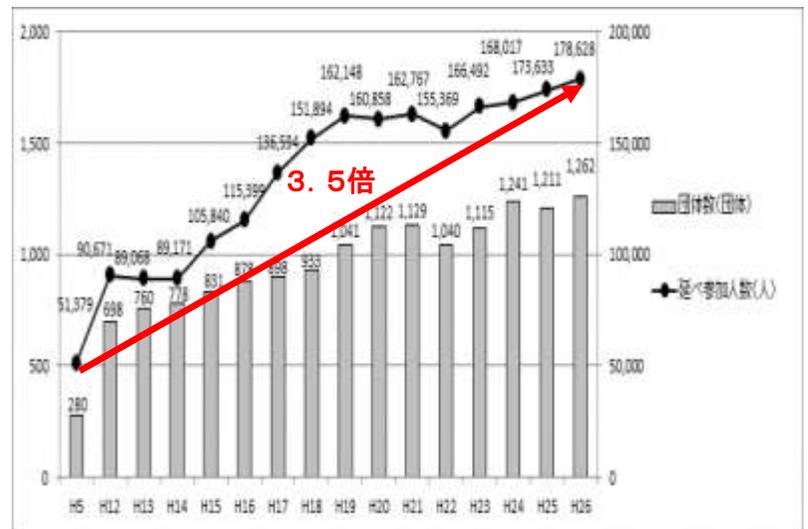
【Food EXPO Kyusyu 2015 チラシ】

プロ野球のキャンプ地となり約17万人が来場！

- 清武総合運動公園(宮崎市)の**施設整備に合わせて**、新たにプロ野球(オリックスバファローズ)の**キャンプを誘致**。キャンプ期間中に**約17万人の観客が来場**。
- 平成26年度に宮崎県内外から受け入れたスポーツキャンプ・合宿は1,262団体(3万991人)で、**延べ参加人数(17万8,628人)であり、周辺地域への経済効果は130億円と試算**されている。

【効果】 キャンプ誘致による集客

キャンプ・合宿を多数誘致することで、観光客の集客にも寄与。



【宮崎県内におけるスポーツキャンプ・合宿実績年度別推移】

【平成27年度春季キャンプの誘致状況】



【SOKKENスタジアム】
(平成27年完成)



【平成26年度は約17万人が来場】

【平成26年度 キャンプ誘致実績】

- ・誘致団体数 1,262団体
- ・参加人数 30,991人
- ・延べ参加人数 178,628人

【平成26年度 春季キャンプ誘致実績】

- ・プロ野球 9団体
- ・プロサッカー 22団体
- ⇒経済効果 130億円

- 淡路佐野運動公園(兵庫県)では、「淡路市地域創生総合戦略・人口ビジョン」のもと、**スポーツ大会のキャンプ誘致**や、**市内の宿泊施設と連携した学生・社会人の合宿誘致**等を推進。
- 公園周辺には、**利用者をターゲットとしたスポーツ合宿特化型ホテルが立地**しており、**地元経済の活性化に寄与**している。

【効果1】キャンプ誘致による活性化

【淡路市地域創生総合戦略・人口ビジョン(平成27年10月)】

○**キャンプ地招致推進事業**
兵庫県と連携し県立淡路佐野運動公園を活用することで、東京オリンピックなどの国際大会のキャンプ地及び大会候補地として積極的に誘致活動を行い、認知度向上による交流人口の増加、住民の一体感の醸成による安定的な定住を図る。また、スポーツ振興を図ることで、市内宿泊施設と連携した学生・社会人の合宿誘致を積極的に進める。

【効果2】スケールメリットを活かした大規模大会

河川敷公園※を除き**全国最大級(最大8面)の野球場面数**を誇り、**48チーム以上が参加する近畿圏の大規模な少年野球大会**などを開催。



※河川敷公園では、バックネット等が常設できないことから、公式大会は開催していない。

【効果3】地元経済の活性化

公園周辺のホテルでは、本公園利用者をターゲットとした**スポーツ合宿特化型ホテルへの改築や宿泊パックの提供**により、**アスリートニーズに応えるサービスとホスピタリティを提供し、地元経済の活性化に寄与**。



【津名ハイツ合宿プラン】

【野球強豪校による合宿利用】
 野球の強豪校により、年間延約20日間利用されている。本公園のスケールメリットを活かし、第1、第2野球場と多目的グラウンドを利用することで、1度に100名程度が練習可能。

【H24～H26 合宿利用団体一覧】

団体名
報徳学園高校硬式野球部
立命館大学硬式野球部
大阪府立北野高校硬式野球部
朝日大学硬式野球部
神戸弘陵学園硬式野球部
関西学院大学硬式野球部
天理大学硬式野球部
名古屋商科大学硬式野球部



【スポーツホテル アテナ海月(外観及びHP)】

- 宇都宮城址公園(宇都宮市)は、宇都宮城の本丸跡という歴史的な場所であるとともに、中心市街地の南端に位置し、歴史的な重要性と市民が利用しやすい立地条件の双方を有している。
- 宇都宮城の一部復元により、本市の歴史を伝えるとともに、宇都宮城の歴史を伝える祭りや、地域の食を味わう祭りなど、**様々なイベントを通して郷土への愛着や誇りの醸成に寄与している。**

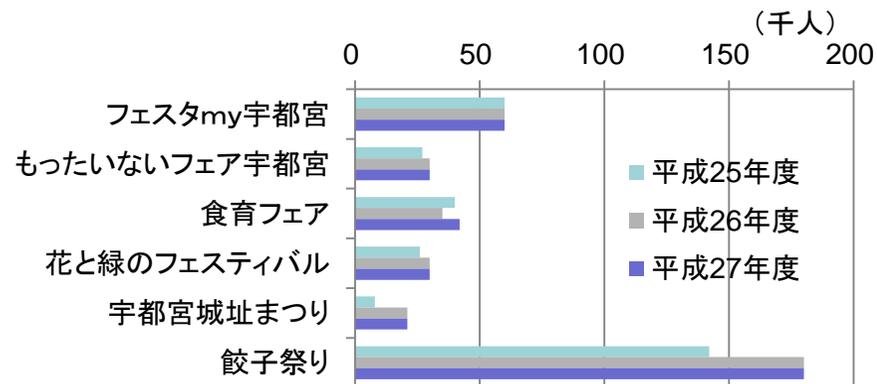
【効果】歴史の伝承と中心市街地活性化への寄与

- ・年間を通して、市民協働による様々なイベントを開催。
- ・中心市街地の回遊性に寄与するとともに、多くの来園者を迎え入れ、子どもから高齢者まで誰もが、宇都宮の歴史を学び、そして、自然に触れ合える交流の場として親しまれてる。



【宇都宮城桜まつり】

【主なイベントの来場者数】



※来場者数は主催者発表人数。フェスタmy宇都宮、食育フェアは他会場の来場者数を含む。



【宇都宮城址まつり】

- 勝山公園(北九州市)は、小倉城を中心とした公園であり、平成19年に周辺の河川や道路と一体的な再整備を実施し、大芝生広場や水上ステージ等を開設。
- 再整備後、公園周辺に高層マンションが建設され、**人口が大幅に増加**。多彩な**イベントの開催により、年間370万人が訪れ**、隣接する大型商業施設とともに、都心の賑わい創出、飛躍的な**集客力の向上**に寄与している。

【効果1】都心の魅力向上による集客力増

【効果2】イベントによる集客効果

Before After



【再整備前(昭和57年頃)】

【再整備後(平成19年)】

年間約370万人が集まり、経済効果は約100億円

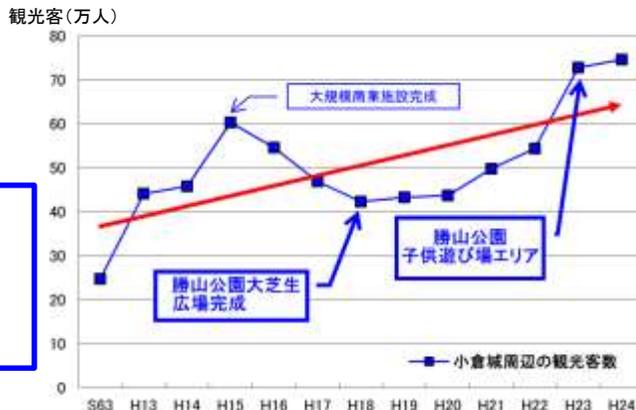


【小倉BQ食KING】



【B1グランプリin北九州】

観光客は約3倍に増加
経済効果は約30億円



●観光客数の動向

24.7万人(昭和63年)

74.6万人(平成24年)



【わっしょい百万夏祭り】



【イルミネーション】

※「小倉城周辺の観光客数」は、小倉城・小倉城庭園・水環境館に訪れる観光客数から算定

※イベントの宿泊客比率は、観光客の宿泊比率の半分で算定

